

低身長を目安

−2SDよりも小さい場合を低身長といいます。

学 年	男子		女子	
	標準身長	(−2SD)	標準身長	(−2SD)
3歳0か月	93.3	86.4	92.2	85.5
4歳0か月	100.2	92.5	99.5	91.9
5歳0か月	106.7	98.1	106.2	97.7
6歳0か月	113.3	103.8	112.7	103.4
7歳0か月	119.6	109.5	118.8	108.8
8歳0か月	125.3	114.7	124.6	113.9
9歳0か月	130.9	119.7	130.5	118.8
10歳0か月	136.4	124.5	136.9	123.9

(cm)

まわりの子どもに比べて極端に背が低いと感じたら
治療が可能な低身長もあるので
まずは小児科の内分外来で相談を！

子どもは放っておいても自然に背が伸びてくるものだと思いませんか？
背が低いのは生まれつきだから仕方ないと思いませんか？

成長ホルモンによる治療が出来る低身長もあるので、原因を調べてから適切な対応をとりましょう。
小児科医の堀内剛先生にお聞きしました。(取材 NNS企画 072-27082694)

Q 健診で背が低いと言われました。どうしたらいいですか？

別掲の『受診の目安』に掲載されている身長を、お子さんの身長と比べてみてください。これより低ければ小児科を受診しましょう。その際、母子手帳や幼稚園・保育園で配られている通園手帳等の成長記録を持参しましょう。「背が低いけどそのう

Q 背が伸びる時期は限られているのですか？

身長が伸びる期間は限られています。乳児期の成長には栄養摂取が大きく関与しますが、

Q 低身長って何ですか？

幼稚園や学校での健康診断のデータを全国的に集計した結果から、別表の身長より低い場合が『マイナス2SD』以下といつて低身長の目安になります。さらに、1年間に急に伸びが悪くなる、いわゆる「1年間にどれだけ伸びたか？」を確認するこ

その後は成長ホルモンや環境要因が大きく関与します。思春期が始まり、その後、骨が成熟して大人の骨になってしまつてそれ以上背は伸びません。中学生や高校生になってから、お子さんの身長の伸びが悪いと心配して受診してくるケースが時々あります。明らかに低身長でも、大人の骨になってしまつていて

Q どうして低身長になるのですか？どんな治療法がありますか？

成長が遅れている原因は色々考えられますが、ほとんどは体質的なもので、心配はいりません。しかし、中には甲状腺ホルモンや成長ホルモンの不足、脳腫瘍、女子に特有のターナー症候群などの慢性疾患や精神的なストレスも伸びを悪くすることがあります。成長ホルモン分泌不全性低身長、ターナー症候群、SGA性低身長症などの場合には、医療機関で検査を行い、一定の要件を満たせば、成長ホルモンを補つ治療を受けること

とも非常に重要です。これらに当てはまる場合には、悩まずに早いうちに受診することをお勧めします。

ができます。成長ホルモンの治療は毎晩の自己注射が基本ですが、昔に比べて針は随分細くなり注射時の恐怖感などが随分軽減されています。治療開始は早ければ早いほど最終身長は高くなります。成長ホルモンの治療により「背が伸びた」だけではなく、『明るくなった』『食欲がでてきた』『手を挙げて発表するようになった』『何事にも積極的になった』という親御さんの声をよく聞きます。子どもたちのよろこぶ姿は医療人としてうれしかぎりです。気になったら小児科の内分外来へご相談下さい。



清恵会病院 小児科医 堀内 剛 先生

